

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年11月26日

【評価実施概要】

事業所番号	0172901597		
法人名	医療法人社団 春光台クリニック		
事業所名	春光台クリニック グループホーム		
所在地	旭川市春光台3条3丁目5番32号 (電話)0166-46-8806		
評価機関名	株式会社 サンシャイン		
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F		
訪問調査日	平成21年11月24日	評価確定日	平成21年12月16日

【情報提供票より】(平成21年9月12日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 16年 4月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	21 人	常勤 10人、非常勤 11人、常勤換算	16.6人

(2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	1階建ての	1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	28,000 円	その他の経費(月額)	光熱費:15,000円	
敷金	有(円)	無	暖房費:5,000円(10月-4月)	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	250 円	昼食	300 円
	夕食	550 円	おやつ	100 円
	または1日当たり		円	

(4) 利用者の概要(9月12日現在)

利用者人数	18 名	男性	5 名	女性	13 名
要介護1	2 名	要介護2	7 名		
要介護3	6 名	要介護4	1 名		
要介護5	2 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 83.4 歳	最低	72 歳	最高	92 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人社団春光台クリニック、林歯科、道北病院
---------	-------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

隣に保育園、向いに大きな公園と公民館があり恵まれた環境にある。生活リハビリに重点を置き、朝は掃除から始まる。雑巾がけやモップがけなど利用者の能力に合わせた作業を行っている。午前・午後のお茶の時間に体操や発声・計算問題などを行っており、週1回はゲーム大会・月1回は2ユニット合同のレクリエーションを行っている。夏期間は外行事を多く設けており「苺狩り」「動物園見学」「お祭り見学」「花火大会」などを行っており、「仮装盆踊り」では職員・利用者共に仮装して楽しんでいる。夏祭りには近所の方が参加するなど、地域とのつながりも浸透してきている。第二の家族として利用者と職員は常に会話をする姿が見られ、理念通り楽しく笑いのある毎日を過ごしている。運営母体が医療法人で、連携の中で健康管理や効果的なりハビリを可能にしている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価での主な改善課題である、職員個々の経歴に応じた育成プログラムの作成は、年間研修プログラムを立てることによって改善されている。また、定期的に栄養指導を受けること、職員の異動を家族にその都度報告することも実行され、改善されている。その他の項目は引き続きの課題としている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価は職員全体に自己評価表を配布し、各自で記入してもらい、それをもとに常勤者会議で話し合い、それぞれの日々のケアの振り返りの時としている。自己評価、外部評価ともに、評価後、改善課題について話し合い、前向きに検討し改善につなげている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営推進会議は市民委員会会長、民生委員、保育園園長、近隣のグループホームのケアマネージャー、家族、利用者、職員が参加し、3ヶ月に1度開催されている。会議では、事業所の現状や行事予定を報告すると共に、事業所の行事やレクリエーション活動などの参加を地域の方に呼びかけ、参加した方からアドバイスや意見をもらい運営に反映している。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>日常的に、家族の来訪時に積極的に意見、意向を聞いている。年2回家族会を開き、家族だけの時間も設け自由に話をしてもらい意見要望を運営に反映している。また、運営推進会議や家族アンケートなど、常に家族が意見、要望を表出できる環境を整えている。また、毎月、家族通信を発行し利用者の状態を報告している。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>町内会に加入しており、「町内敬老会」「地域のお祭り」に参加している。事業所の夏祭りには地域の方が大勢参加するなど相互に交流している。隣が保育園なので「敬老会」「クリスマス会」には園児が来訪し、お遊戯などを披露している。天気の良い時には園庭に遊びに行き、お祭り時期には園児たちがお神輿で立ち寄ってくれるなど交流がある。散歩や庭の手入れ中などに近隣の方と気軽に挨拶やお話をするなど、交流の機会がある。</p>

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	職員一人ひとりに理念を考えてもらい、日常のケアのなかで本当に大切なことを考え、「楽しく笑いのある毎日を過ごせること、ゆったりと安らげる毎日を過ごせること、家族や地域の方とのふれあいを持てることをお手伝いさせていただきます」という新しい理念を作り上げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は必然的に日常行っていることを理念に掲げたので、理念の実践は身につけており、実践している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入し、「町内敬老会」「地域のお祭り」に参加する一方、事業所の夏祭りには地域の方が大勢参加するなど相互に交流している。隣が保育園なので園児が来訪し「敬老会」「クリスマス会」にはお遊戯などを、お祭り時期にはお神輿で立ち寄ってくれるなど交流がある。また、向いの公民館の文化祭を見学したり、散歩や庭の手入れ中などに近隣の方と気軽に挨拶やお話をするなど、交流の機会がある。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は職員全員に自己評価表を配布し記入してもらい、常勤者会議で話し合い、日々のケアの見直しの機会としている。外部評価後、改善課題について両ユニットの管理者同士が話し合い改善につなげている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は地域の方、近隣のグループホームのケアマネージャー、家族、利用者、職員が参加し、3ヶ月に1度開催されている。会議では、事業所の現状や行事予定を報告すると共に、事業所の行事やレクリエーション活動の参加を地域の方に呼びかけ、参加した方からアドバイスや意見をもらい運営に役立っている。</p>		<p>運営推進会議はできるだけ、おおむね2ヶ月に1度の開催を目指し、また、地域の方に避難訓練の参加などを呼びかけ、災害時の地域協力を得られるような関係を構築されることを期待したい。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市からの情報は通達などで把握しており、市担当者とは相談や連絡を行い連携している。また、市主催の研修もできる限り参加している。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月発行の家族通信「ほほえみ」で、行事などホーム全体の活動の様子に加えて、一人ひとりの利用者の生活ぶりを個別に写真を交えて伝えており、職員の異動も通信に載せている。金銭管理は毎月報告している。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族の来訪時や毎月の支払日、ケアプランの見直しの時などに家族からの意見要望を聞き、意見があれば検討し運営に反映させている。また、年に2回家族会を開催し質疑応答の場を設けたり、家族アンケートの実施や運営推進会議への参加により家族の意見の表出の場を設けている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員間の関係は良好で、開設以来、離職者は少ない。止むを得ず職員が退職し職員が替わる場合も、新人職員にはプログラムに沿って研修を行い育て、利用者が不安に感じないように配慮している。</p>		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>年間研修プログラムを作成し、カンファレンスで内部研修を計画的に行っている。また、職員の段階に応じて外部研修に参加させ、カンファレンスで研修報告を行い職員間で共有している。また、スーパーバイザーによる指導をしてもらうなど、職員のレベルアップを図っている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>管理者でもある計画作成者はケアマネージャー研修に参加し、情報交換や交流を行っている。他の同業者との職員間レベルの交流は行っていない。</p>		<p>同業者の職員間レベルの相互交流を前向きに検討し、情報交換や知識の向上とケアに対する理解を深める取り組みを期待したい。</p>
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居前に本人、家族が事業所を見学し、レクリエーションを体験したり、お茶などを一緒に飲んで、雰囲気にならなから入居となっている。また、同一法人のデイケアの利用者や病院の患者の方が事業所を見学し、希望して入居する場合もあり、信頼関係のなかで安心して入居してもらっている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>管理者は生活リハビリに力を入れており、利用者の能力を最大限に活用し、掃除、調理、畑仕事、ひも縛りなど利用者の活躍の場を支援している。また、職員と利用者は絶えず会話しており、喜怒哀楽を共にし、ときに利用者から職員が慰めてもらったり、昔の知恵を教えてもらい支え合う関係を築いている。</p>		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>					
<p>1.一人ひとりの把握</p>					
14	33	<p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用開始時に、本人、家族から、生活歴や環境、家族構成、思いや意向を聞き取って情報収集すると共に、利用者の日々の関わりのなかから、センター方式を採用しより細かい思いや意向を汲み取り、本人本位に検討し、ケアプランに反映させている。</p>		
<p>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画は常勤職員が担当を持ち、本人・家族からアセスメントを行い、ミニカンファレンスで職員の意見を聞き、作成している。センター方式を採用することにより、より細かな利用者の思いを汲み取ることができ、作成後は家族に説明し同意を得ている。</p>		<p>職員は毎日の記録を細く記入しているが、介護計画に対し介護日誌が連動して記載されるシステムになっていないので、介護目標を効果的に評価できるような記載方法を検討されることを期待したい。</p>
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画の見直しは基本的に3ヶ月に一度である。骨折や入院など身体的な面での変化や、認知レベルの低下、薬の変更など利用者の状況に応じて話し合いを行い、現状に即した計画を作成し、その都度見直しを行っている。</p>		
<p>3.多機能性を活かした柔軟な支援</p>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>医療連携体制を活かして、日々の健康チェックや医療相談を行っている。点滴に毎日送迎したり、事業所での点滴対応など医療連携体制を活かした入院回避を行っている。かかりつけ医への受診も柔軟に対応している。</p>		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	訪問看護を週1回、また、母体のクリニックとは24時間指示を仰げる体制をとっており、医療連携ができています。入居時に、かかりつけ医の受診可能であることを伝え、希望の医療機関を選んでもらっているが、現在利用者と家族は当ホーム母体のクリニックを選択している。眼科・皮膚科などは、利用者と家族の希望で、かかりつけ医に継続受診している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期に向けて支援は、契約時の段階から事業所の方針を本人、家族に伝えている。重度化や終末期に向けた指針、同意書の書類の整備も行っている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報などの書類は事務所に保管され、お便りの写真の掲載なども家族から同意を得ている。日常のケアにおいても、羞恥心に配慮した言葉遣いや守秘義務の徹底は周知されている。面会簿も個票になっており、個人情報は守られている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切にし、その人の生活リズムに合わせている。入浴もいつでも必要に応じて対応し、食事も利用者の食べたいものを聞き、献立は決めていない。レクリエーションは毎日行われているが、強制することなく、全体ゲームや個別のゲームを用意するなど利用者の希望に沿った支援を行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>利用者と職員は同じテーブルと一緒に食事をしており、食事の準備や後片付けも利用者の力量に応じて一緒に行っている。献立は決めずにその日に利用者の希望を取り入れて作っている。また、外で焼き肉を食べたり、月に1度は外食しており、楽しみの一つとなっている。</p>		
23	57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>入浴は毎日可能になっており、希望に沿い週2～3回程度している。自分で着脱が可能な利用者には、時間がかかることもあるが、利用者の意欲を尊重して十分な時間を取って入浴している。お湯の温度も本人の希望に合わせて、入浴剤も使用したりして楽しんでもらっている。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>利用者にはそれぞれ、掃除、食事の準備や後片付け、洗濯物たたみ、ひも結び、などの役割を持ってもらい、生き甲斐のある生活を支援している。また、毎日のレクリエーション活動や塗り絵、編み物、ドライブなど、楽しみごとの支援も行っている。</p>		
25	61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>天気の良い日は、散歩や買い物などを楽しんでいる。利用者はドライブを好んでいるので、気分転換の為に希望に合わせて出かけている。冬季は大型ショッピングセンターに出かけたり、受診帰りに買い物など、利用者に合わせて支援を柔軟に対応している。</p>		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>日中は施錠していないが、夜間は防犯のため施錠している。安全のためにセンサーがつけられている。利用者は外出したい時は一緒に行き安全面に配慮している。帰宅願望が強い時には、ゆっくりと話をしたり、外出したがる方には集中して行える物などで働きかけ、突然の外出がないように配慮している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>避難訓練は年4回、利用者と一緒に日中、夜間を想定し行われ、近くの母体のクリニックが避難場所になっている。車庫には水と毛布の非常用品を保管している。近隣に住んでいる職員が多いので、災害時に協力が得られやすい環境にある。</p>		<p>現在は、まだ、地域の方の災害時の協力関係を構築されていないので、運営推進会議などを通して避難訓練などにも参加してもらえるような関係を築かれることを期待する。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>利用者の食事量、水分量は個別に記録されており、職員間で共有している。利用者の状態に合わせ、食事の量やおかゆ、刻み食など個別に対応している。また、定期的に栄養士に栄養指導を受けている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用空間は居間、食堂がひとつながりとなっており、レクリエーションを行うのに十分な広さがある。大きな窓からは中庭が見え、季節感を感じることができる。窓や天窓からの自然光で室内は明るく、気になる臭いもない。また、玄関や居間にある季節ごとの飾り物が潤いを与えている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者の居室はそれぞれ、使い慣れた家具や装飾品、写真、仏壇が持ち込まれ、家庭的な雰囲気である。居室の出入口には、各自が持参した暖簾が飾られ、プライバシーが保てるようになっており、居心地よく過ごせるように工夫がなされている。</p>		

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。